



左から辰柳玲斗さん、滝浪暁さん、四垂哉汰さん

## 白球を追い続けて 3人で挑んだ 最後の夏

葛巻高校野球部は7月12日、全国高等学校野球選手権岩手大会に「一戸・葛巻連合」として出場しました。

今年の野球部員は3年生の辰柳玲斗さん（江川中出身）、滝浪暁さん（静岡県出身）、四垂哉汰さん（盛岡市出身）。2年続けて新入部員がなく、3年生だけになって、野球にかける想いは変わっていませんでした。哉汰さんは「どんな状況でも野球は楽しい。少人数でも精一杯やろう」と気持ちを奮い起こしたといいます。

一戸高校との合同チームに最初は不安もあったそうです

が、玲斗さんは「一戸高校のみんながたくさん声をかけてくれて、とても良い仲間になった」と話します。

迎えた県大会の第1試合は宮古高校との対戦。1回表の攻撃で暁さんがセンター前ヒットを打ち先制点を挙げますが、その後は相手ピッチャーのスライダーに苦戦し、1対4で惜しくも敗退しました。暁さんは「悔しかったが、チャンスを作れて、またノーエラーのスコアが出て良かった」と粘り強く戦った試合を振り返っていました。

部活を引退した彼らに野球の魅力を聞くと、玲斗さんは「負けていても最終回まで勝敗は分からないところ」、暁さんは「戦略を立てて相手チームと駆け引きするところ」、哉汰さんは「チャンスやピンチが次々あって、感動する場面があるところ」と語ります。

今後、それぞれの進路に向かって勉強に励む3人は、「少人数でも、自分たちのように野球を楽しんで欲しい」と野球部に再びメンバーが集まることを願っていました。

3学年は6月27日から30日まで、関西方面へ修学旅行に行ってきました。

鹿苑寺や清水寺、USJ（ユニバーサルスタジオジャパン）が最も記憶にあります。鹿苑寺は、三島由紀夫作の小説「金閣寺」の題材にもなった有名なお寺です。一度は焼失しましたが再建され、今なお輝き続ける姿は圧巻でした。そして「清水の舞台から飛び降りる」という言葉もある清水寺は、地面から12mの高所にありました。ここから飛び降りる決断をするのは難しいと思いましたが、物事の決断にはそれくらい大きな勇気が必要ということですかね。

USJは、総合的な探究の班（仲良し!）で回りました。おそろいで色違いの服に



USJは友だちとのかけがえない思い出に

思い出の修学旅行

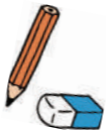
キーホルダー、青春です。「大切な友だちだ」と再認識し、最先端のテーマパークを体験できました。班員のみならず感謝です。

コロナ禍での修学旅行は、いろいろな意見があったと思います。送り出してくれた両親、許可してくれた校長先生、全面的にバックアップしてくれた先生方に感謝しています。本当に良い修学旅行でした。ありがとうございました。



菅野貴大（3年）

8月になり、夏まつただ中です。感染症対策も必要ですが、皆さん熱中症にもお気を付けて。



### 高校生記者レポート



## 中学生が体験入学 高校生活のイメージ膨らませる



葛巻高等学校の体験入学が7月1日、町内外の中学校3年生とその保護者など88人が参加して開催されました。

中学生はグループに分かれ、現代文、数学、英語コミュニケーション、生物基礎の4教科の授業と、葛巻町学習塾を見学。生徒が積極的に話し合いながら進む授業の様子に興味深そうに見つめていました。

体育館で行われた全体会では、佐々木均副校長が多様な進路希望に対応できる学習体制のほか、給食やスクールバス、制服の購入助成などの町の支援体制を説明しました。

在校生による体験発表では、近藤あかねさん（1年）が「高校ではいろいろな地域から集まった仲間と交流でき、多様な価値観に触れることができます。授業が進むスピードが速いので、学習塾でサポートを受けています」と高校生活の様子を紹介。続いて生徒会の江田理菜さん（2年）と山口瑛大さん（同）がクラスマッチ、文化祭、予餞会の3大行事を紹介し「魅力と特色がある葛巻高校への入学をお待ちしています」と、中学生に熱



①英語コミュニケーションの授業を見学②出身校の後輩を案内する高校生③全体会で学校の概要説明を聞く中学生④高校生活の魅力を紹介する近藤あかねさん⑤野球部で硬式球のノックを体験⑥剣道の竹刀を持ち、面打ちを体験する中学生

